



ふる里散歩

天覧山周辺の自然に親しめるふる里散歩へ、どうぞふるってご参加ください。

2/10
日

「冬の里山・バードウォッチング」の巻

講師：内田康夫駿河台大学名誉教授
天覧山周辺にはたくさんの鳥が生息中。
どんな鳥と出会えるか楽しみです！
集合/能仁寺山門前 午前9時半
申し込みは不要

持ち物/飲み物・お弁当・山道を歩ける服装
参加費/300円（小学生以下100円）
★雨天中止

3/10
日

「早春の植物観察」の巻

芽吹き始めた木々や道端の草花に春の息
吹を感じましょう。
集合/能仁寺山門前 午前9時半
申し込みは不要

持ち物/飲み物・お弁当・山道を歩ける服装
参加費/300円（小学生以下100円）
★雨天中止

4/14
日

「谷津田で
おもしろ体験エコツアー」の巻

現在の所、詳細は未定です。
詳しくはてんたの会までご連絡ください。
(042-974-1691 浅野)

5/12
日

「自然の中で婚活エコツアー」の巻

現在の所、詳細は未定です。
詳しくはてんたの会までご連絡ください。
(042-974-1691 浅野)

【各回共通 共催/はんのう景観トラ
スト、(財)埼玉県生態
系保護協会飯能名栗支部】
※2/10、3/10は「はんの
う市民環境会議」も共催



チャノキ

モニタリング1000里地調査結果報告会

参加費無料

間伐や異常気象、天覧山の自然はどのように変わりつつあるのでしょうか。
雨にも負けず、夏の暑さにも負けず1年間調査を行った調査員が、その結果を
報告します。お菓子を食べながら、今後の保全の方向も話し合しましょう。
日時/2013年2月11日(月・祝) 13:30~16:30
場所/飯能市郷土館・学習研修室
内容/・2012年の調査結果(植生、カエル、カヤネズミ、チョウ、ホタル、鳥)
・飯能市内でのツミ(タカ的一种)の子育て動画上映



マルガキ

やませみ

64

発行日/2013年1月1日
編集・発行/NPO法人天覧山・多峯主山の自然を守る会
事務局/TEL042-974-1691(浅野正敏)
埼玉県飯能市柳町18-17

- 機関誌「やませみ」は「銀河堂」「ロビングッドフェ
ロー」「丹三郎」にあります。
- 「やませみ」へのご意見をお寄せください。
投稿もお待ちしています。

URL=http://www.tenranzan.com/
E-mail=tenta@tenranzan.com

デザイン・イラスト 石岡真由海

会員募集中!!

1995年、巨大住宅団地開発の計画がきっかけで発足
した「NPO法人天覧山・多峯主山の自然を守る会」は、
この地の自然をいつまでもという思いで、様々な活動を
続けています。どうぞあなたも会員になって活動を支え
てください。

*年会費 ●正会員 普通会員 2,000円
特別会員 10,000円
●賛助会員 1口 10,000円

*会費・カンパ送り先
郵便振替口座「NPO法人 天覧山・多峯主山の自然を
守る会」00580-9-16342



やませみ

春の霞の奥から匂い立つ花々

虫の世は
静まり返る夏の午後

山の端は木立の
漆黒が茜の秋を
切り抜き

そして
祭灯火を
仲間と見詰め

この一年の無事を祈る
冬はついに初春

特集

飯能周辺の野鳥観察報告
“天覧入りの谷津田の野鳥”

- 巻頭言「天・多」森づくりの合意形成を
- 平成24年のてんた活動概要
- 自然保護協会の第12回沼田眞賞を受賞!
- 第1回「てんた里山バザール」開催
- ふる里散歩
- モニタリング1000里地調査結果報告会



平成24年のてんた活動概要

- 1/1 (日) ふる里散歩「初日に祈る山歩き」の巻
- 2/11 (土) モニタリング1000調査報告会 郷土館にて
- 2/12 (日) ふる里散歩「冬の里山バードウォッチング」の巻
- 2/18 (土) 「てんたの会の活動」の講演「トトロのふるさと基金」にて
- 3/1 (木) やませみ62号発行
- 3/11 (日) ふる里散歩「早春の植物観察会」の巻
- 3/24 (土) 小出裕章氏(京都大学原子炉研究所助教)講演会*賛同協力
- 4/8 (日) エコツアー「谷津田の水辺つくりツアー」の巻
- 5/13 (日) ふる里散歩「新緑の山を歩こう」の巻
- 6/10 (日) 定期総会と座談会 富士見公民館和室にて
- 6/24 (日) ふるさと散歩「ほたるのタベ」の巻
- 7/8 (日) トトロのふるさと財団視察受け入れ
- 7/15 (日) ふる里散歩「虫ムシ探検隊」の巻(さいたま緑のトラスト協会共催)
- 8/5 (日) 『福島子ども保養プロジェクト@練馬』支援事業
- 8/20 (月) やませみ63号発行
- 9/9 (日) ふる里散歩「秋の虫を探そう」の巻
- 10/21 (日) てんた里山バザール「東谷津ほとけどじょうの里」にて
- 11/11 (日) ふる里散歩「晩秋の山歩き」の巻
- 11/18 (日) 天覧山谷津の里づくり「里山復活祭」(はんのう市民環境会議に協力)
- 12/9 (日) ふる里散歩エコツアー「里山のリース作り」の巻

※ 定例作業 毎月第2、第4日曜日 東谷津ほとけどじょうの里手入れ作業

※ 定例会議及び理事会 毎月第2、第4金曜日

※ 毎月11日…モニタリング1000植物調査、
不定期モニタリング1000調査(カエル、ホタル、カヤネズミ、蝶、鳥)

※ その他、市民ネットワークを進める会、はんのう市民環境会議、天覧山谷津の里づくり手入れ作業、天・多保全のための懇話会、飯能市エコツアーリズムなどに参画

「天・多」森づくりの合意形成中

(NPO法人天覧山・多峯主山の自然を守る会 代表 浅野正敏)

新年明けまして

おめでとうございます。

てんたの会は今年で18年目を迎えることとなります。当会の発足のきっかけは、天覧山・多峯主山周辺一帯に大規模な住宅団地開発の計画申請が出され、飯能のシンボルであるこの森を守ろうと立ち上がった署名活動からでした。

あれから、とてつもない逆行と戦いながら森の保全を訴え続ける中、環境重視へと時代が移り、開発を押し進めていた企業と行政は、現在、市民とともにこの森を守り育てて行くという理念を持って実践している状況となっています。

当会は、開発中止以後も間伐など森の保全整備に対して環境影響のチェック(モニタリング調査)など様々な活動を行って

います。こうした継続した活動が認められ、(財)日本自然保護協会の名誉ある沼田眞賞を与えられました。これは、当会のみならず陰で支え応援してくれたすべての皆様に与えられたものと思っています。

現在このように恵まれた環境にあっても尚、次なる課題が待ち受けています。同じ「森を守り育てる」という方法にも考えの巾が大きく違うのです。例えば一方では間伐により森を明るくして多様性のある自然環境を造るうと進めれば、他方では自然保護のためそのままの森で手をつけないでという事があります。どちらも間違いではないと思います。どちらかに片寄せた森づくりではなく、多様な森のあり方があっても良いのではないのでしょうか。そのためにはゾ

ーニング(種類別に区域を設定)して森づくりを進めて行く事が必要となります。

また、森を経済的に維持していくためには、市街地商店街活性化とも絡めて観光として活用して行く視点も大切です。PRにより多くの人々が天覧山・多峯主山に訪れることはとてもうれしいことですが、行き過ぎると自然破壊に繋がりがかねません。何事にも相反する事柄があり、森づくりの合意形成を図るために今年はその調整が特に重要となりそうです。当会はNPOとしてその調整役を担う立場として、指標生物のモニタリングデータを確認しつつ、天覧山・多峯主山周辺一帯の自然が皆の宝物で在り続けるよう、今年も活動して行きたいと思っています。

特集 飯能周辺の野鳥観察報告

天覧入りの谷津田の野鳥



2010年6月に横浜から飯能市に家内と二人越してきて2年6ヶ月、家内と二人で野鳥の写真とビデオ（家内）撮影を趣味として、定年後はもっぱら横浜や東京の公園を廻っては野鳥との出遭いを楽しんでおり、ここ飯能市にきても天覧山とその周辺の谷戸を知らずに能仁寺前のニコニコ池のカワセミや宮沢湖、入間川の周辺、天覧山周辺へは足を踏み入れた事はありませんでした。

2011年1月15日、初めて踏み入れた「天覧入りの谷津田」今住んでいる所から自転車で僅か10分足らずのこの場所で「青い鳥ルリビタキ」に出遭ったのが天覧山周辺の野鳥達と付き合って貰う第一歩となりました。



ルリビタキ

天覧山周辺の野鳥への関心は連日の天覧入り通いとなり、初めて公園以外でトラツグミと出遇えた時は、感激の一瞬でした。



トラツグミ

そして“天覧入り”でルリビタキに出遭ってから1年と10ヶ月、天覧山周辺で写せた野鳥は42種類を数え、入間川と成木川沿いで写せた野鳥を加えると75種類にも及ぶ沢山の野鳥と出遇える幸運にも恵まれました。（家内のビデオも飯能周辺で20種類越えです）

2012年10月下旬から11月末までの冬季の野鳥情報での特筆すべきことは沢山のカケスが谷津田の上空を飛び交い、ドングリを採っては針葉樹に隠す様子が毎日繰り広げられ、連日“天覧入りの谷津”でその姿をカメラで追いかけていました。



カケス

更に11月1日、快晴の天覧入り谷津上空を滑空するオオタカを捉えました！



オオタカ

この冬は昨年見られなかった野鳥が見られ、絶好のバードウォッチシーズンの予感があり、既にミヤマホオジロ・アトリ・ウソ・マヒワ・ベニマシコ・イカル等が来訪してくれて、特に天覧入り谷津田周辺は目が放せません。



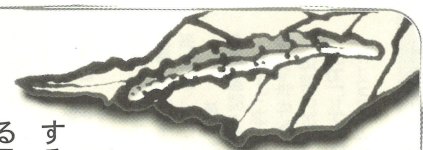
ウソ

湿地帯、萱原、葦原、小川、藪、林縁、針葉樹林、落葉樹林、混合樹林と里山として配置されていた自然環境を保存しようという努力されてきた活動が野鳥の住む環境を保護する結果となっているのではないのでしょうか。

萱や葦の原で餌を探しているシジュウカラ、エナガ、メジロ、ホオジロの声や羽音、今年の冬は特に沢山の種類の野鳥が見られる絶好の機会です。

能仁寺から天覧入り谷津田の付近で望遠カメラを持ったオジサンと、ビデオカメラを持ったオバサンを見つけたら一声お掛けください、天覧入りで見られる野鳥の写真を紹介します。

（会員 河合 裕）



てんたの会が 自然保護協会の 第12回沼田眞賞を受賞



保護に貢献したNPOなどが並んでいます。

森の開発計画が進められていた時代、保全を訴え続けた当会の活動と、現在進めている行政・企業との協働による里山保全やモニタリング調査等の活動が評価されたとのこと。来る2月3日（日）

13時〜17時に清澄庭園大正記念館（江東区）で、授賞式と浅野代表ほか受賞者の記念講演（各40分）が行われます。（会員 大石章）

てんたの会は、60年の歴史を有する日本の代表的環境NGOである日本自然保護協会から、自然保護や自然保護教育に関する研究や実践ですぐれた実績を挙げた者を顕彰し奨励する「沼田眞賞」を受賞しました。沼田眞氏（1917〜

2001年）は、千葉大学理学部長や日本生態学会会長を務めるなど生態系研究の第一人者として植物群落や都市生態系の研究に活躍された方で、協会の会長も務めました。過去の受賞者には小泉武栄教授などの著名な学者や東北ブナ林

演奏中の三橋夫妻



賑わう里山バザール会場



10月21日、前日の雨が嘘のような素晴らしい秋晴れに恵まれた「東谷津ほとけじょうの里」で、初めての試み「てんた里山バザール」を開催しました。

バザールには「秋の一日、石窯の周りで聞く『小さな森の市』を楽しみませんか！」という呼びかけに応じてくださった11店が、手作り雑貨や野菜、食べ物などのお店を出店してくださいました。てんたの会有志も石窯を使ったピザや焼き芋を準備しました。

午前11時に開店すると、てんたの会の会員や、天・多の森に来たハイカー、散歩の途中に立ち寄る人たちなど、予想を遥かに超える入場者が次々と訪れてくださいました。またこの日、会員の三橋ご夫妻が、森の一角でチェロと電子ピアノによる素敵なミニコンサートを開いてくださいました。森の中を流れるチェロとピアノの調べ・・・本当に素敵でした！

三橋ご夫妻、そして会場準備から当日の作業を担ってくださった会員のみなさま、ほんとうにありがとうございました。そしてお疲れさまでした。

今回は、「東谷津ほとけじょうの里」をたくさんの方に知っていただき、会の活動に理解を深めていただきたいということ、併せて谷津の素晴らしさも知っていただきたいという思いからの企画でしたが、参加者から「楽しかったです！また開催してください！」などというお声もいただくことができました。今後いろいろと反省点も踏まえ、次回につなげて考えていきたいなと思っています。

（会員 早瀬あかね）